

## 令和3年度第1回がん対策審議会議事録

1 日時 令和3年11月16日（火）午後6時から午後6時50分

2 場所 Web会議（主会場：千葉県庁本庁舎5階特別会議室）

3 出席委員

入江会長、飯笹副会長、五十嵐委員、大津委員、佐藤委員、杉浦委員、高原委員、武田委員、寺口委員、藤澤委員、星岡委員、松戸委員、和田委員

4 議題

議事

千葉県がん対策推進計画の中間評価について

報告事項

千葉県小児・<sup>あ</sup>AYA世代のがん患者等<sup>にんようせい</sup>妊孕性温存療法研究促進事業について

5 議事内容

（議事録署名人の指名）

○入江会長

議事録署名人について、指名させていただいてよろしいか。

（異議なしの声）

○入江会長

五十嵐委員と藤澤委員に議事録署名人をお願いする。

議題 千葉県がん対策推進計画の中間評価について

【事務局より資料1、資料2、参考資料1-1～1-3に基づき説明】

○入江会長

ただいまの説明について、御意見があればお願いしたい。藤澤委員、御意見はあるか。

○藤澤委員

予防早期発見のところで、冒頭に担当部長から発言があったが、コロナの影響で検診を受けていない方が多く、がんの進行したものが治療される率が高くなっていること、そして、令和元年度に50%近くだった検診受診率が、令和2年度は、対がん協会の調査でも概ね20～30%下がっていることが分かっており、今年度も戻り

きっておらず、確実に10%以上は下がるだろうという状況である。来年度、仮に50%に戻った場合、どのように評価をするのか。経時的な変化も反映しながら評価しないと、長期的に見て全体目標である死亡率の減少が鈍ってくる、あるいは上昇する可能性がある。そのあたり、県の考えはどうか。

○事務局

ご指摘の部分は、事務局でも中間評価の資料を取りまとめる中でも苦慮した部分である。令和4年度に受診率50%を掲げた予防・早期発見分野で、令和2、3年度に受診率が落ち込むことは予想されるが、受診率向上という目標に限っていえば、令和4年度に向けて当面維持していく必要があると考える。

その上で、ご指摘のあった全体としての死亡率の低下への影響については、受診率が徐々に回復してきているものが令和4年度にどうなるのかを含め、しばらくは慎重に見極めたうえで判断していく必要があると考えている。

現状としては、目標の変更は行わない方針を立てているところである。

○入江会長

その他、意見はあるか。杉浦委員。

○杉浦委員

資料2のアンケート調査結果に関し、調査Aの調査対象であるがん診療連携拠点病院での対応について質問したい。がんの宣告を受けていない、がんを認識していない患者もおり、抗がん剤を処方する際、薬剤師は細心の注意を払っている。がん診療連携拠点病院では、どのような対応をしているのか。

○飯笹副会長

各病院とも、他疾患である旨の説明をしないことはもちろん、インフォームドコンセントをしっかりと行わないまま抗がん剤を処方することはないと認識している。

○入江会長

その他、御意見等あるか。

○飯笹副会長

「ちばがんナビ」や「全国がん登録」の認知度について、がん患者会会員の認知度がそれなりに高いことは頷けるが、病院を利用した方や一般県民の認知度が低い。このことに対する対応はどうか。

○事務局

ご指摘の点については、改善の余地があると考えている一方で、目的を特化したものについては、ターゲットにきちんと届いていることが重要であるとも考えている。その意味では、一般県民を対象としたアンケート調査結果で、認知度が低い結果となることはある種やむを得ないところでもあり、真にその情報を必要としている人に

届けば良いのではないかと考えている。

ご指摘のあった「病院を利用した方」の認知度が低いことは、県としてもより力を入れ改善を図りたい。

○五十嵐委員

がんとの共生に関し、がん相談支援センターの認知度もなかなか上がらない。相談支援センターの場合は、当事者になる前に広く一般に、がんになったら相談ができる機関があることを知っていただきたい。がんと宣告された直後に相談していただきたいが、なかなか伝わらず、治療が終わりある程度落ち着いてから相談支援センターを知るということが多い。ACを使うなど、もう少し広報をしてほしい。

○事務局

具体的な御提案の詳細については、別途お伺いする場を設けさせていただきたいが、がん相談支援センターの位置づけについて申し上げますと、がん診療連携拠点病院に設置されているが、拠点病院の患者だけではなく、その病院にかかっていない方でも相談を受け入れるところが大きな特長の1つと考えている。

県として、広報・啓発力に限界があることは認めざるを得ないところではあるが、少なくとも県が作成している各種広報物には、相談支援センターが相談先であることを繰り返しお伝えするようクレジットさせていただいている。

○入江会長

その他、何か御発言はあるか。ただいまいただいた御意見については、事務局で検討していただき、後ほど判断することとしたい。現在の中間評価の内容については、事務局提案のとおり、本審議会の5つの部会でそれぞれ検討していただいたうえで、次回3月中旬に開催を予定している本審議会で確認させていただくことでよろしいか。

(異議なしの声)

○入江会長

それでは、そのようにさせていただく。

報告事項 千葉県小児・AYA世代の<sup>あ や</sup>がん患者等<sup>にんようせい</sup>妊孕性温存療法研究促進事業について

【事務局より資料3、参考資料2に基づき説明】

○入江会長

新しい事業ということだが、御質問等はあるか。無いようなので私から、ネットワーク事務局はどこに置く予定か。

○事務局

千葉大学医学部附属病院に設置し、医療機関同士の連携や患者への案内等担って

いただくよう調整を図っているところである。

○入江会長

その他、何か御発言はあるか。

(発言なし)

○入江会長

本日の準備された議題は以上で終了する。

**【議事終了】**